



高速しが

令和2年
(2020)
12月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

年末の交通安全県民運動が始まります！

◇運動の期間：12月1日（火）～12月31日（木）まで

運動の重点

子どもを始めとする歩行者の安全と 自転車の安全利用の確保

「思いやり、ゆずり合い」の気持ちを持って運転しましょう。車を運転中に子供や高齢者を見かけたら、徐行または一時停止するなど注意しましょう。

自転車安全利用の推進

自転車安全利用五則

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は、歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
 - ・飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ・夜間はライトを点灯
 - ・交差点での信号厳守と一時停止・安全確認
- ⑤ 子供はヘルメットを着用



高齢ドライバーを含む 高齢者の交通事故防止

滋賀県内の高齢者が関係する交通事故は、全体の約3～5割を占めています。高齢者マークを表示している車には、思いやりとゆずり合いの気持ちを持って運転しましょう。

高齢ドライバーの方で運転に不安があれば、家族や身近な人に相談して運転免許証の自主返納を考えてみましょう。



飲酒運転、妨害運転等の 危険運転の防止

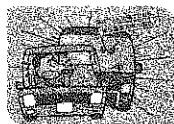
飲酒運転の根絶

飲酒運転は「犯罪です」少しでもお酒を飲んだら絶対に運転はやめましょう。



妨害運転（あおり運転）の防止

妨害運転は重大な交通事故につながる悪質、危険な運転行為です。時間に余裕を持って安全運転に心がけましょう。



横断歩道利用者

ファースト運動の推進

横断歩道は歩行者優先

信号機のない横断歩道では、周辺に歩行者などが見えなくても、横断歩道に近づいたら速度を落とし、歩行者の有無を確認しましょう。

横断歩道は「歩行者優先です。」歩行者や自転車が横断しようとしているときは、必ず一時停止しましょう。



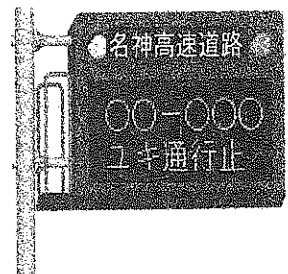
冬の高速道路 走行注意

冬の高速道路では、凍結等予期せぬ道路状況によって多重事故に発展することが多々あります。

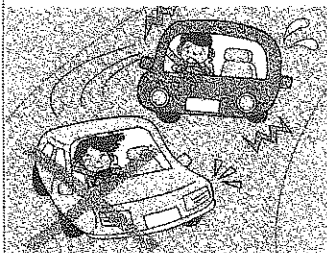
気象状況や路面の変化をしっかりと読み取り、状況に応じて危険を予測した運転に心がけてください。

① 交通規制を確かめてから進入する

冬の高速道路は、降雪作業により渋滞が発生するほか、降雪などの状況によっては速度規制や通行止めになることもあります。インターネットや情報板などで高速道路情報を確かめ、時間に余裕を持って進入しましょう。



② 急加速・急減速・急ハンドルは事故に直結



積雪や凍結によって加速(減速)車線と本線道路では路面状況が異なるため、「急」の付く動作はスリップなど招く危険性が高くなります。加速車線ではアクセルを緩やかに踏み込む、減速車線に入るときは急減速はしないで余裕を持った運転をしましょう。

落下物は落とし主の責任です！

最近高速道路での積み荷の落下による乗り上げ事故が多発しています。落下物は後続車両を巻き込む大事故につながります。

出発前の積み荷やタイヤのチェックはもちろん、長距離運送するときには、休憩時以外にもSA、PAで必ず積み荷の再点検をしてください。

